

命・くらし**最優先** 絶対ゆずらない

私たちの**お約束**

住みよい葉山へ さらに**力**を尽くします

くらし

地域の福祉支援の拠点整備。高齢者の足として公共バスポート助成実現。国保料・介護料の減免・値下げ。小児医療費を中学まで無料に。就学援助の拡充、高校奨学金制度の復活、小中学校のトイレ改修

環境

資源ステーション常設設置でゴミ資源化・減量化さらに。原発再稼働に反対し、公共施設への太陽光パネル設置など推進。生活用水全般が洗浄できる合併浄化槽整備で水環境を改善。避難場所・避難路整備など防災対策の強化

住民

自治基本条例制定と徹底した情報公開で住民参加さらに。リフォーム助成、耐震助成の拡充。賃金単価を支える公契約条例の制定

緑あふれる葉山だから…

環境まもる ルール整備を

樹木伐採など貴重な自然が破壊され、騒音被害や公園用地提供があいまいにされるなど大問題となった一色宅地開発。議会には「まちづくり条例」改善を求める請願が出され、日本共産党など賛成しましたが、賛成少数で不採択に…。葉山のかげがえのない自然と住環境を守るため、ルール整備が必要です。

地方選で問われる**大問題**

ストップ! 戦争立法

若者の命を 守りましょう



賀来三四郎
©カクサン部!

「被災地支援で入隊したのに、なぜ海外の戦地に行かせるの？」(自衛隊員のお母さん)

「お父さん、戦争に行っちゃうの？友だちの自衛官のお父さんも心配」(小学生)

「海外で兵士になるため、自衛隊に入ったわけじゃない」(制服姿の若者)

日本共産党

共産党に自衛隊関係者から寄せられた声の一部です。安倍政権は、海外の戦場に若者を送り込む法案を選挙後の5月連休明けに提出しようとしています。9条のもと、戦場で命を奪い合うことがなかった日本。歴史の岐路を迎えている今、一緒に、若者の命を守りましょう。

川村純雄さん(元海上自衛隊横須賀教育隊・海曹長)

30年間、国民を守るため勤務し、退官後も予備自衛官として震災ボランティアに参加してきました。憲法9条という立派な柵があるにもかかわらず、なぜ柵を乗り越え戦争行為を身近にしてしまうのか。子どもたち、将来ある若い人たちを危険から守らなければなりません。私も命ある限り戦います。



自民党元幹部が次々「赤旗」に登場。解釈改憲など安倍政権の動きに警鐘を鳴らしています。

日本の防衛と無関係 海外の戦場派遣が目的です

- 国会で、日本共産党の志位委員長に「米国が違法な先制攻撃を行った場合でも発動(派兵)するのか？」と問われ、安倍首相は否定せず。
- 「(戦争立法は)自衛隊と世界中どこでも共同して部隊を運用できる」と歓迎(横須賀・米第7艦隊司令官、ロバート・トーマス。3月31日)

「戦争立法」反対署名に ご協力下さい

Tel : 046-851-1123
(共産党三浦半島地区委員会)